

仙台二華高等学校

校訓 進取創造 至誠貢献



1 基本データ

創立：明治37年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：712名
所在地：〒984-0052
仙台市若林区連坊一丁目4番1号
TEL：022-296-8101
FAX：022-296-8103

ホームページアドレス：
<https://nika.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
nika@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
バス・地下鉄南北線ともに五橋駅下車 徒歩7分
JR仙台駅東口から徒歩15分
地下鉄東西線連坊駅から徒歩7分宮城野通駅から徒歩9分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

限らない未来への挑戦

100年を超える伝統と実績をもとに新しい学びの場を創造し、21世紀の世界を切り拓き、先導していく、豊かな人間性と高い知性を有する人間を育成してまいります。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は明治37(1904)年に私立東華女学校として創立し、その後県立の宮城県第二高等女学校と合併、昭和23(1948)年には、学制改革により宮城県第二女子高等学校と改称、数多くの有為な人材を世に送り出し、今年度で119年目を迎えます。そして、男女共学、併設型中高一貫教育校の仙台二華中学校・高等学校として大きく生まれ変わって14年目を迎えました。

校舎は仙台市の中心地に位置し、仙台駅から徒歩15分の立地で交通の便も良く、つねに最先端の学術や文化に接することのできる環境にあります。また、常磐の杜で知られる緑豊かな地域の敷地を効率よく利用した7階建ての校舎には大きなアトリウム(吹き抜け)があり、明るくのびのびと勉強や部活動ができるようになっています。更に、敷地内には同窓会館とIB(国際バカロレア)棟もあり、充実した学習環境が整っています。創立以来の文武両道の精神と、自由で明るく親しみやすい生徒の気質、地道ながらも誠実で礼儀正しい伝統の気風は現在も受け継がれています。

(2) 教育方針

豊かな心と高い知性をもち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

【教育目標】

- ・豊かで高い知性を養い、主体的・創造的に学ぶ生徒の育成
- ・礼節と品性を尊び、豊かで包容力をもつ個性あふれる生徒の育成
- ・真理と正義を愛し、未来を切り拓き世界に

貢献できる生徒の育成
・健やかな心身を育み、国際社会の中でたくましく生き抜く生徒の育成

(3) 教育課程の特徴

令和元年度入学生より単位制に移行し、今まで以上に自分の進路や興味・関心、さらに能力や適性などに合った授業を選択することができるようになりました。

授業は1コマ45分で、週に35コマ行います。生徒同士の教え合い、学び合いの中で、多様な個性が切磋琢磨しながら「豊かな学び」の伸長を目指します。1年次では、高入生と一貫生は別々のクラスに編成され、7クラス編成となります。2年次では、混合クラスとなり、本人の進路希望によって文系と理系のクラスに分かれ、6クラス編成になります。3年次では、進路目標に応じた選択科目を履修できるように教育課程を編成しており、難関国・公・私立大学の入試にも対応した授業を展開しています。将来の目標をきちんと持って入学してくる生徒の一人一人の希望が、無理なく達成できるよう環境を整えています。

また、令和2年9月に東北の公立高校として初めてIB認定校となり、令和5年3月にIB類型の第一期生が卒業しました。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

本校生は、普段の授業は勿論のこと、学校行事・生徒会活動・部活動にも手を抜かず全力を尽くします。これらの行事を通して、多様な個性が互いに学び合い、磨き合いながら自分の可能性を発見し、人間性や社会性を高めていくことができるのも仙台二華の良さといえるでしょう。

本校の三大大行事と呼ばれる「体育大会」「合唱コンクール」「百華祭」は、中学・高校合同で実施されます。実行委員の主体的な取組のもと、生徒が主役のこれらの行事は毎年大いに盛り上がります。

部活動は、運動部と文化部あわせて34部あり、高い志をもって活発に活動しています。交際交流も盛んで、台湾、米国等の高校生が年間を通して来校しています。また、留学生も受け入れています。

課題研究では、夏と冬の2回、それぞれ選抜された生徒たちがメコン川流域国でのフィールドワークを行います。2年次生全員が参加する海外研修旅行の実施や、米国デラウェア州の公立高校への交流派遣(ホームステイ)

研修などを実施しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
国公立大学	109	114	106
国公立短大	0	0	0
私立大学	77	71	83
私立短大	1	0	1
専各学校	2	4	2
就職	0	1	1
その他	49	40	35
卒業生計	238	230	228

主な進路先(令和6年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

<国公立大学>

東北大学(23)、宮城教育大学(17)、北海道大学、弘前大学(2)、岩手大学(5)、山形大学(19)、福島大学、筑波大学(3)、千葉大学、東京大学(2)、東京海洋大学、東京工業大学、一橋大学(2)、横浜市立大学(2)、京都大学(4)、奈良女子大学、大阪大学、国際教養大学、宮城大学(13)、福島県立医科大学 他

<私立大学>

東北学院大学(18)、東北福祉大学、東北医科薬科大学(6)、宮城学院女子大学(2)、酪農学園大学、岩手医科大学、慶応義塾大学(3)、青山学院大学、東京農業大学、明治学院大学、東京理科大学(3)、中央大学(4)、法政大学(4)、明治大学、立教大学、早稲田大学(7)、立命館大学 他

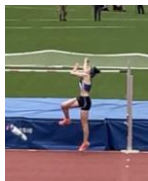
3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

部活動

運動部と文化部あわせて35部あり、高い志をもって活発に活動しています。

令和5年度も多くの方が上位大会に進出しました。陸上部のインターハイ出場をはじめ、水泳部、体操部の東北大会出場、文化部では鹿児島で行われた全国総文祭に放送部、音楽部、地学部が出場するなど数多くの功績を残しています。



また二女高時代から続く音楽部とギター一部合同演奏会「C&G コンサート」や、茶道部による「ひな祭り茶会」、美術部による「二つ展」など様々な分野で活躍しています。

課題研究

「地球環境」をテーマとした探究学習をさらに追究し、学校設定教科「グローバルスタディ課題研究」において「世界の水問題」を解決するために国際的な課題研究に取り組んでいます。2月には校内で課題研究発表会を行いお互いの研究成果を見せ合いました。



他にも様々な学会やシンポジウムに積極的に参加し、素晴らしい賞をいただきました。

選抜された生徒達によるメコン川フィールドワークが7月と12月に行われ、研究を深めました。



(2) 学校制服紹介



男子は学生服、女子はブレザーにスカートもしくはスラックスとなっています。学校指定のセーターとベストもあります。シンプルで飽きのこないデザインとなっています。

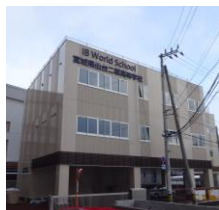
(3) 施設紹介

宮城県仙台二華中学校・高等学校が「開校した2010年に建てられました。7階建ての校舎中央部は、吹き抜けとなっており、天井から差し込む自然光が校舎内を照らします。

5月には鯉のぼりなど四季折々の飾り付けを楽しむことができます。



2021年に開講した国際バカロレア類型のための校舎（IB棟）も完成しました。



(4) 二華の三大行事

体育大会

4月は綱引きやリレー、長縄跳びなどの陸上競技、10月はバスケット、サッカーなどの球技をクラス対抗で競います。高校3年次生が色とりどりのクラスTシャツに身を包み、一致団結して臨む姿には他年次も一目置きます。



合唱コンクール

真剣勝負のコンクールです。本番までは短期間ながら、歌声が校舎内に響き渡ります。体育大会同様、高校3年次生の衣装パフォーマンスは必見です。



百華祭

文化部、有志団体が2日間に渡りイベントや展示、パフォーマンス、物品販売などを行います。

これらの行事に共通することは「生徒主体の行事」だということです。運営はもちろん、準備や後片付けまで、すべて生徒たちで行うことが仙台二華の伝統になっています。



(5) 在校生よりメッセージ



植野雄陽 富沢中学出身
生徒会長
軽音楽部長（茶道部、写真部も兼部）

仙台二華は今年で創立120年を迎える県下有数の伝統校です。「進取創造 至誠貢献」の校訓を掲げ、県内各所から高い志を持った仲間が集い、日々切磋琢磨しています。

東北初の公立高校での国際バカロレア設置校でもある本校では、留学生の積極的な受け入れや、生徒の海外派遣、台湾やシンガポールへの研修旅行など海外との交流が盛んに行われているのも大きな特徴です。海外出身の先生方を中心に、外国の文化に触れるイベントも沢山企画されています。

また、部活動に於いても運動部・文化部ともに活発で、東北大会や全国大会などへ出場する部も多くあり、勉強と部活の高いレベルでの両立を目指す、高い志を持った生徒が多くいます。

この欄だけでは仙台二華の魅力の全てを語ることはできませんが、この学び舎で過ごす3年間は、とても内容の濃いものとなるでしょう。我々と共に、仙台二華で充実した3年間を過ごしてみませんか？